

全体質疑

猶予がないSLの技術継承

西岡委員（京都地本）



●今年の4月25日、福知山線列車脱線事故から13年が経過する。福知山線列車脱線事故を風化させることが無いよう、今後も様々な取り組みを行っていく。

●約1年後の統一地方選挙

55歳以降の調整率撤廃を！

堂屋敷委員（岡山地本）



●昨年は、2月11日、岡山地本管内の糸崎駅構内での

触車事故により、協力会社社員の死亡事故が発生させました。

●1月13日に、契約社員の組合員が、JR西労組を脱退し、西労へ加入するとい

●1月13日に、契約社員の組合員が、JR西労組を脱退し、西労へ加入するとい

平和過ぎる労使関係に疑問符

石田原委員（大阪地本）



●2月1日に、「JR西日本グループ鉄道安全考動計画2022」が公表された。

●2018春闘でも、原点に立ち返り、山芋のような粘り強さとスッポンのような食らいついたら離さない精神力で臨みたい。

●2018春闘でも、原点に立ち返り、山芋のような粘り強さとスッポンのような食らいついたら離さない精神力で臨みたい。

●2018春闘でも、原点に立ち返り、山芋のような粘り強さとスッポンのような食らいついたら離さない精神力で臨みたい。

●2018春闘でも、原点に立ち返り、山芋のような粘り強さとスッポンのような食らいついたら離さない精神力で臨みたい。

●2018春闘でも、原点に立ち返り、山芋のような粘り強さとスッポンのような食らいついたら離さない精神力で臨みたい。

●2018春闘でも、原点に立ち返り、山芋のような粘り強さとスッポンのような食らいついたら離さない精神力で臨みたい。

地方の駅は「何でも屋」

尾崎委員（福知山地本）



●昨年9月20日に、福知山支社初の死亡労災事故が発生させてしまった

●「安全の集い」では、航空連合の内藤事務局長に、「航空業界のヒューマンエラー対策の取り組みについ

●「安全の集い」では、航空連合の内藤事務局長に、「航空業界のヒューマンエラー対策の取り組みについ

●「安全の集い」では、航空連合の内藤事務局長に、「航空業界のヒューマンエラー対策の取り組みについ

●「安全の集い」では、航空連合の内藤事務局長に、「航空業界のヒューマンエラー対策の取り組みについ

●「安全の集い」では、航空連合の内藤事務局長に、「航空業界のヒューマンエラー対策の取り組みについ

●「安全の集い」では、航空連合の内藤事務局長に、「航空業界のヒューマンエラー対策の取り組みについ

●「安全の集い」では、航空連合の内藤事務局長に、「航空業界のヒューマンエラー対策の取り組みについ

●「安全の集い」では、航空連合の内藤事務局長に、「航空業界のヒューマンエラー対策の取り組みについ

「ヒューマンエラーは起こりうる」との考え方を

山口委員（西バス地本）



●東名高速道路のICを通り過ぎて、本線上で停車し、本線を後退するという、重大な事故を発生させてしまった。乗客の一人が怪我をされ、仲間に迷惑を掛けてしまったことをお詫びする。

●西日本JRバスには、「ヒューマンエラーは非懲戒」という制度がまだない。責任追及ではなく、発生状況や背後要因も踏まえた上で、「ヒューマンエラーは起こりうる」との考え方を会社に提起している。

●西日本JRバスには、「ヒューマンエラーは非懲戒」という制度がまだない。責任追及ではなく、発生状況や背後要因も踏まえた上で、「ヒューマンエラーは起こりうる」との考え方を会社に提起している。

●西日本JRバスには、「ヒューマンエラーは非懲戒」という制度がまだない。責任追及ではなく、発生状況や背後要因も踏まえた上で、「ヒューマンエラーは起こりうる」との考え方を会社に提起している。

●西日本JRバスには、「ヒューマンエラーは非懲戒」という制度がまだない。責任追及ではなく、発生状況や背後要因も踏まえた上で、「ヒューマンエラーは起こりうる」との考え方を会社に提起している。

地方の駅は「何でも屋」

尾崎委員（福知山地本）



●昨年9月20日に、福知山支社初の死亡労災事故が発生させてしまった

●「安全の集い」では、航空連合の内藤事務局長に、「航空業界のヒューマンエラー対策の取り組みについ

●「安全の集い」では、航空連合の内藤事務局長に、「航空業界のヒューマンエラー対策の取り組みについ

●「安全の集い」では、航空連合の内藤事務局長に、「航空業界のヒューマンエラー対策の取り組みについ

●「安全の集い」では、航空連合の内藤事務局長に、「航空業界のヒューマンエラー対策の取り組みについ

●「安全の集い」では、航空連合の内藤事務局長に、「航空業界のヒューマンエラー対策の取り組みについ

●「安全の集い」では、航空連合の内藤事務局長に、「航空業界のヒューマンエラー対策の取り組みについ

●「安全の集い」では、航空連合の内藤事務局長に、「航空業界のヒューマンエラー対策の取り組みについ

●「安全の集い」では、航空連合の内藤事務局長に、「航空業界のヒューマンエラー対策の取り組みについ

●執行委員の「かじわら英樹」君が、京都府議選山科選挙区から立候補する。京都地本一丸となり、取り組みを進めていきたい。

●年末年始輸送・第3四半期決算も好調。5年連続のベア・諸手当・年間臨給の満額回答を引き出していた。京都地本としてもしっかり支えていく。

●撤布行動をはじめ、「第21回京都駅ビル大階段駆け上がり大会」では、けがのないよう、裏方で頑張りたい。

●約1年後の統一地方選挙

●約1年後の統一地方選挙

●約1年後の統一地方選挙

「山芋スッポン」の粘りと精神力で

大谷委員（中バス地本）



●昨年11月に、1名の脱退者を出してしまった。中バス地本では、国労の組合員2名が自己都合退職し、残り3名となったことで認識への甘さがあった。

●昨年1月に「呉ドリーム大阪号」を運行中、乗務員

現行の賃金制度に限界

大矢委員（神戸地本）



●昨年は2月と9月に、協力社員の死亡労災事故。12月11日には、のぞみ34号の重大インシデント。多くのJR西労組組合員が、社会からの厳しい視線の中、業務を行った。どんなにシステムや技術が進歩しても、

